

令和4年度

浜松市立和田小学校

第4回 学校運営協議会



令和5年2月20日(月)
午後1時20分～午後3時30分
旧パソコン室にて

〈本日の日程〉

13:20~13:50 授業参観 ※ 御自由に御参観ください。

14:00~15:30 学校運営協議会

学校運営協議会 次第

※ 開催要件確認(委員の過半数の出席が必要です。)

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長の選出
- 4 前回会議録確認
- 5 熟議
 - (1) 授業についての意見交換 - 10分 -
 - (2) 学校運営の基本方針について(承認) - 20分 -
 - (3) 学校運営協議会 自己評価 - 25分 -
 - (4) 夢育やらまいか事業報告(CS加算分) - 3分 -
- 6 その他
 - ・情報交換 等
- 7 連絡
 - 令和5年度 年間行事計画
 - 令和5年度 第1回運営協議会の予定
 - ・第1回 5月12日(金)

1 学校経営構想の基本方針

- (1) 第3次浜松市教育総合計画（後期）の教育理念『未来創造への人づくり』を受けた「夢と希望を持ち続ける子供」「これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供」「自分らしさを大切にする子供」の視点、『市民協働による人づくり』を受けた「子供の育ちの基盤を築く家庭」「子供の育ちを支える地域」の視点を踏まえて『はままつの人づくり』を和田小学校の子供たちの成長の姿で具現する。
- (2) 新学習指導要領の理念の理解を深めるとともに、その内容を踏まえた教育課程を編成し、着実に実施する。
- (3) 天竜中学校区の目指す子供像の具現化を図るために、4つの小中学校における情報交換を密にするとともに、連携・協働を意識した教育活動を計画的に進め、小中一貫教育を推進する。
- (4) すべての教育活動を通じてキャリア教育に重点をおいた教育を推進するとともに、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成を図る。また、情報機器の積極的な活用、効果的な活用を図る。
- (5) 教育課程の編成・実施・評価・改善に組織的に取り組み、その状況を家庭や地域に伝えることで「保護者や地域に信頼される学校づくり」に邁進する。
- (6) 令和4年度に導入したコミュニティ・スクール制度から、これまで以上に教育課程を地域社会に開くとともに、学校運営協議会及び本制度を活用することで保護者・地域との一層の連携、協力、協働を推進し、教育活動の充実を図る。
- (7) 本年度に開校150周年を迎えることを踏まえた学習や学校行事、児童会活動等を計画・実施し、学校や地域の歴史を学ぶとともに、現在を見つめ、未来について考える機会とする。

2 校訓 及び 学校教育目標

校 訓

自主

協同

創造

学校教育目標

自分を高め、ともに進む子

和田小学校の卒業生に、テレビを発明した高柳健次郎氏がいる。高柳氏が大切にした言葉に「創造」があり、木彫りのレリーフとなって本校の玄関に飾られている。変化の激しいこれからの社会を生きていくためには、ものに限らず、新しいものごとを作り出していくことが必要となる。開校150周年を機に、高柳氏の大切にした言葉「創造」を校訓に加え、本校の教育に反映させていくこととし、その精神を子供たちに培うこととする。

3 目指す子供の姿

学校教育目標を具現化するために、「知」「徳」「体」の3つの面から目指す子供の姿を以下に示す。

◎学びあう子

- 課題を見つけ、自分の考えをもつ子
- 考えを発表し合い、話し合うことで深め合う子
- ねばり強く学習に取り組み、達成感を感じ、自分を高める子

◎認めあう子

- 自他を知り、自分らしさについて考え、自分と他者の違いを受け入れる子
- 互いのよさを見つけ、自分に自信をもち、他社を励ます子
- 互いを思い合い、自分の判断で正しい行動をする子

◎きたえあう子

- ねばり強く取り組む姿勢や調整力を高め、体を鍛え合う子
- 交通事故防止や防災・防犯の実践力を高め、自分の体を守る子
- 自他の心と体の健康を考え、自分を律し、健康の保持増進を図る子

本年度、特に培っていききたい資質・能力 **ねばり強さ** **向上心** **自律心** **調整力**

開校150周年を迎えることを機に、「和田っ子の心得」を代表委員会を通じて子供たち自ら見直す。そして、自分たちがこれから目指したい姿として「和田っ子宣言（仮称）」を制定する。

4 学校経営目標（目指す学校像）

だれもが主人公、笑顔いっぱい夢いっぱいの学校

子供も職員も一人一人が、自分のよさを感じ、互いに寄り添い、認め合い、支え合い、励まし合いながら生き生きと活動することを通して自他を高め、夢や希望をふくらめることができる学校を目指す。

5 経営の重点

<教育活動全体を通じて>

(1) キャリア教育の推進

キャリア発達の基盤となる力の育成を目指し、特別活動を要として各教科、領域における指導を工夫する。

本校で押さえた4つの基礎的・汎用的能力と、その中で重点とする資質・能力

- 人とかかわる力
- 自分を見つめる力
- 学びを深める力
- 未来につなげる力

(2) 基盤となる力の育成

すべての教育活動を通して、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成を図る。また、情報機器を積極的に活用し、効果的な活用を図る。

<「学びあう子」の育成のために>

(3) 授業改善の推進

- 学習習慣の定着と授業規律の徹底を基盤とした基礎基本の定着を図る。
- 育成したい資質・能力から教科横断的なカリキュラムマネジメントを行うとともに、子供の実態を踏まえた単元構想を工夫する。その際、「主体的・対話的で深い学び」となる学習展開を行い、「生きる力」を育成する。
- 子供の「見通しと振り返り」、教師の「指導と評価の一体化」を大切にした授業を推進する。
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。

(4) 発達支援教育の充実

- 児童理解に努め、職員及び家庭等との連携・協働による個に応じた指導を推進する。

<「認めあう子」の育成のために>

(5) 心の教育の推進

- 主体的な学び、対話的な学びを重視した道徳教育の充実を図り、自分事として考えたり、物事を多面的にとらえる力、正しく判断する力を育成したりする。
- 月1回「心の日」を設定し、他者との関わり方を学ぶ機会を設ける。
- 異学年集団での活動を継続的に取り入れ、思いやりや助け合いの心、リーダーシップとフォロワーシップを発揮する場を設ける。

(6) 生徒指導の充実

- 温かな人間関係を築く学級経営を基盤に、ほめて伸ばす指導や気持ちに寄り添う相談指導を充実させ、自己有用感を高める。
- 組織的な取り組みにより、いじめの未然防止、早期発見、早期解決を図る。

<「きたえあう子」の育成のために>

(7) 体力向上の取組

- 体を動かすことを楽しみ、進んで体力向上に努める力を育てる指導や機会の充実を図る。

(8) 安全教育の推進

- 自他の命を大切にし、臨機応変に行動する力を育てる指導を進める。(交通・防犯・災害)

(9) 生活習慣の改善

- 自己の生活を振り返り、自ら改善する力を育てる。(健康・食育)

6 目指す教職員の姿

(1) 一人の教師として

- 子供に寄り添い、子供理解に努める教職員（人間味あふれる教職員）
 - ・ 子供をかけがえのない一人の人間として受け止め、寄り添う。
 - ・ 進んで遊んだり交流したりして様々な視点で子供のよさを把握する。
 - ・ どの子供にも温かなまなざしや声掛け、指導、支援等を行う。
 - ・ よさを認める言葉や過ちを諭す言葉を大切にして、子供のやる気を引き出す。
- 自己研鑽に励む教職員
 - ・ 「分かる授業・楽しい授業」を実現するために努力を惜しまない。
 - ・ キャリアステージを考え、本校での自分の役割を意識する。

(2) 組織として

- 組織で考え、動き、支え合う教職員（ワンチーム）
 - ・ 学年全員で協力して学年運営を進める。（学年グランドデザインの作成）
 - ・ 情報を共有し、組織で対応する。（一人で抱えない、対応しない。）
 - ・ よい表れも共有し、みんなでほめ、励ます。
 - ・ 自分の得意を生かし、苦手は助け合う。
- 働き方を意識し、健康で元気に仕事をする教職員